

成果発表プログラム

	氏名	学年 (プログラム入学年度)	プログラム・所属研究科・専攻
1	ふじた りょう 藤田 遼	D3 (平成 25 年)	グローバル安全学トップリーダー育成プログラム 理学研究科・地球物理学専攻
	テーマ	気候変動問題 × 安全・安心 ～二刀流の博士課程生活を振り返る～	
	【発表内容】	<p>本発表では、発表者がこれまでリーディング大学院で過ごした約 4 年半を振り返り、そこから学んだこと・感じたことを報告する。具体的には、気候変動問題との向き合い方に関する漠然とした興味・疑問と共に進学した博士課程の中で、科学技術社会論(STS)と巡り会い、自主企画活動を立ち上げ、COP21 へ参加した経験を通じて、そこで得られたフィードバックをもとに形成されてきた新たな専門力のかたちについて述べる。</p>	
2	りゅう じょんちゆん 柳 淀春	D3 (平成 26 年)	マルチディメンジョン物質理工学リーダー養成プログラム 工学研究科・知能デバイス材料学専攻
	テーマ	Pt の結晶性によるスピンドイナミクス	
	【発表内容】	<p>スピントロニクス分野において金属内のスピンの制御は次世代のデバイスを構築する要素として注目を集めている。本発表では金属の結晶性によるスピンの振る舞いを探索した結果と共に、リーディングプログラムのインターンシップから得られた本テーマに関する成果を発表する。</p>	
3	ひらたももこ 平田 萌々子	D3 (平成 26 年)	グローバル安全学トップリーダー育成プログラム 理学研究科・地学専攻
	テーマ	スーパーインターンシップに参加して	
	【発表内容】	<p>本発表では 2016 年に実施した JICA(国際協力機構)ニカラグアでのインターンシップについて報告する。本インターンでは中米広域防災能力向上プロジェクトフェーズ 2(BOSAI II)に配属され、「コミュニティ防災」に関する調査・分析・提言を実施した。本発表では専門知を社会にどう活用できるかといった視点から、本プログラムの意義を検討したい。</p>	

	氏名	学年 (プログラム入学年度)	プログラム・所属研究科・専攻
4	くろす 黒子めぐみ	D2 (平成 26 年)	マルチディメンジョン物質理工学リーダー養成プログラム 理学研究科・物理学専攻
	テーマ	リーディング活動で得られたこと	
	【発表内容】	発表者はこれまでに海外インターンシップ、プログラム内インターンシップを行ってきたので、その総括を行う。次いで、発表者が中心となって企画したつくば見学旅行について、得られた知見を発表する。最後にこれらの経験で得られたものをもとに、後輩への助言を行う。	
5	ひさまつ あきふみ 久松 明史	D3 (平成 25 年)	グローバル安全学トップリーダー育成プログラム 工学研究科・土木工学専攻
	テーマ	G-Safety の強みが生んだ「減災アクションカードゲーム」	
	【発表内容】	学生自主企画活動の中で開発された新しい防災教育教材の開発経緯と開発における工夫、開発後の展開活動を紹介する。一連の活動を通して見えてきた「G-Safety の強み」について考察する。	
6	ふるや ひろき 古谷 拓希	D2 (平成 26 年)	マルチディメンジョン物質理工学リーダー養成プログラム 工学研究科・材料システム工学専攻
	テーマ	インターンシップを用いた博士研究の発展	
	【発表内容】	MDプログラムのカリキュラムである、企業・海外・プログラム内の三種のインターンシップを通し、所属研究室では行うことの出来ない実験に取り組み、優れた結果および貴重な経験を得ることができた。各インターンシップの意義や成果について、研究内容を踏まえ報告する。	